第43期 中間ビジネスレポート

2012年4月1日～2012年9月30日

株式会社 やまや

〈証券コード 9994〉

経営理念

株式会社やまやは「流通、販売の合理化を実践し、消費生活を豊かにすることで地域社会に貢献する。」というやまやグループ経営理念、そして、三方善（さんぽうよし）の考えを基としたやまやグループ行動規範を実践しています。三方善とは、「売り手善し、買い手善し、世間善し」すなわち、一方、自分。二方、相手方。そして、第三方、社会一般。の三方が、それぞれに善い状態に保つことを言います。

株式会社やまやは、お客様、お取引先、我々の主体性の三方を衡平（こうへい）に考え、経営理念実現のため、日々、この三方善の信条を以って考動（こうどう）してまいります。

目次

ごあいさつ……2
ビジネストピックス……3
店舗ネットワーク……5
財務ハイライト……8
連結財務諸表（要旨）……9
会社概要……10
株主メモ……11
株主優待制度……11

シャトー・ムートン・ロートシルト

2012年度 第2四半期 営業報告

代表取締役会長　山内 英房　代表取締役社長　山内 英靖

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社第43期中間（第2四半期累計期間2012年4月1日から2012年9月30日）の事業の概況についてご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興が進むにつれて一部の企業業績や個人消費が持ち直しの兆しを見せたものの、欧州債務危機や円高の長期化による輸出企業の業績不安、電力不足の懸念があり、非常に不透明な状況で推移いたしました。

酒販業界は、新ジャンルがビールを圧倒する低価格・節約のデフレ基調が引き続き、価格競争が激化する中、業種・業態を越えた競争も加わり、厳しい経営環境でしたが、昨年の震災の影響から、メーカー各社の供給体制が完全復旧し、品目数、お品揃えが復活、8月に好天少雨であったことから、需要も復活いたしました。

このような中、当社グループは、お客様第一を基本に専門店の充実したお品揃え、魅力ある売場づくりを目指し、改装、出店、物流改革に取り組みました。

既存店の改装は、横手店（秋田県）、一関店（岩手県）、西多賀店、榴岡店、南光台南店、亘理店（宮城県）、鶴岡店（山形県）、紫竹山店、新潟青山店、燕三条店（新潟県）、洋光台店（神奈川県）、箕面船場店、吹田佐井寺店、河内磐船店（大阪府）の14店舗を改装しました。

新規の出店は、大曲店（秋田県）、箱田店（群馬県）、鴻巣吹上店、的場店（埼玉県）、北野台店（東京都）、山下公園店（神奈川県）、松任店（石川県）、西宮北口店、宝塚中筋店（兵庫県）、橿原葛本店（奈良県）、立町店（広島県）、今宿店（福岡県）の12店舗を開店しました。

仙台北業務店（仙台市泉区）を仙台業務店（仙台市宮城野区）に併合し、また、宝塚中筋店の出店に伴い、スピード宝塚山本店（兵庫県）を閉店しました。

当第2四半期決算期後の10月1日に、明治屋産業株式会社（福岡市）より、福岡県、山口県の酒販店11店舗の事業を、再生手続中の大仁酒造株式会社（富山市）より、富山市内の酒販店3店舗の事業をそれぞれ譲り受け、10月1日の総店舗数は296店舗となります。

7月1日より、福井県、石川県、富山県に商品供給する北陸FDC（石川県金沢市）を稼動し、当該決算期後の10月1日より、福岡県、山口県に商品供給する福岡FDCを稼動いたしました。

これらの取り組みにより、売上面におきましては、厳しい経営環境ではありましたが、客数が伸びたことにより増加いたしました。利益面におきましては、前事業年度の増益要因の一つであった震災の影響によって営業時間を短縮したことでの人件費、光熱費の減少、前々事業年度の被災引当金の戻り益など、前事業年度の特殊要因の反動で、営業利益、経常利益とも減少いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が595億78百万円（前年同期比108.7%）、営業利益は14億84百万円（同85.4%）、経常利益は16億15百万円（同87.7%）、四半期純利益は9億65百万円（同86.9%）となりました。

なお、東日本大震災の影響の少ない前々年第2四半期累計期間との比較では、売上高が前々年同期比107.5%、営業利益が前々年同期比121.6%、経常利益が前々年同期比128.8%、四半期純利益が138.5%となりました。

今後とも皆さまのご期待に沿うよう、努力を重ねてまいりますので、皆さまの変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

ビジネストピックス
Business Topics

新規出店を進め、グループ店舗数は300店舗余りとなります!

京都アバンティ店（京都府）

手倉田店（宮城）の常設ギフトコーナー

当社は、大都市を中心とした積極的な店舗展開を進めており、年間20店舗程度の新規出店を目指しております。

2012年上期は、箱田店（4月、群馬県）、的場店（4月、埼玉県）、橿原葛本店（4月、奈良県）、立町店（6月、広島県）、山下公園店（6月、神奈川県）、宝塚中筋店（6月、兵庫県）、西宮北口店（7月、兵庫県）、北野台店（7月、東京都）、松任店（7月、石川県）、大曲店（8月、秋田県）、鴻巣吹上店（8月、埼玉県）、今宿店（9月、福岡県）の12店舗をオープンいたしました。

2012年下期は、既に京都アバンティ店（10月、京都府）、六地蔵店（10月、京都府）、手倉田店（11月、宮城県）の3店舗をオープンし、下期中に300店舗体制となる予定です。

今後も、駐車場を備えた200坪程度の標準店、大都市中心部の都市型店、2層型のやまや&ダイソーなどの、バラエティ豊かな新店を開設してまいります。

京都アバンティ店は、都市型店として、京都駅の八条口前再開発ビル「KYOTO AVANTI（京都アバンティ）」1階に、10月6日、ビルリニューアルオープンに併せ、開店いたしました。

京都駅から地下道で直結、ビル前は空港バス、高速バス、観光バスなどのターミナルがあり、京都・滋賀・奈良県にとどまらず、京都観光の国内外のお客様にご満足いただけるよう、京都伏見の清酒はもちろん、国内、世界のお酒を取り揃え、コーヒー、イタリアンを始め、輸入食材を厳選し、豊富にご用意、さらに常設のギフトコーナーを設け、ご来店をお待ちしております。

六地蔵店は、2層型のやまや&ダイソーの店舗です。2階にダイソーを併設することで、主婦層のご来店を促し、1階のやまやで買回りしていただけるよう、相乗効果を狙った店舗です。

当社は「酒類を中心とした嗜好品の専門店チェーン」として、今後とも新規出店、既存店のリニューアルを積極的に進めてまいります。

福岡県、富山県の酒販事業を譲受しました

今宿店（福岡県）

当社は10月1日に、明治屋産業株式会社（福岡市）より酒類販売店12店舗（福岡県11店舗、山口県1店舗）の事業を、また、再生手続中の大仁酒造株式会社（富山市）より酒類販売店3店舗の事業をそれぞれ譲り受けました。

これまで当社は福岡県内に「やまや」2店舗を有しており、さらなる店舗網の拡大の機会を探っておりましたが、明治屋産業株式会社が、酒販事業から撤退し主力事業である食肉及びデリカ・レストラン等の事業に集中するということで両社の考えが一致し、今回の店舗譲受に至りました。

譲り受けた12店は、今宿店（写真）を皮切りに、順次改装を実施し、専門店化を進めてまいります。

また、大仁酒造株式会社は、民事再生手続中でありますが、当社子会社のやまや北陸株式会社が、大仁酒造の酒販事業を承継する意向を表明し、富山地裁から事業譲渡の許可を受けて行われました。

株主優待制度による寄付実施のお知らせ

佐藤昭塩釜市長に、海をきれいにする会から、目録が贈呈されました。

（写真）左から 佐藤昭塩釜市長　中央 当社代表取締役社長 山内英靖　右 株式会社カネタ・ツーワン 代表取締役社長 田畑正人

平成24年3月末基準の株主優待制度を通じて、株主様からお預かりした寄付金を、当社とお取引先企業の会組織「海をきれいにする会」を通じ、宮城県塩釜市に支援金として贈呈いたしましたのでご報告いたします。

この支援金は、塩釜市を通じ「被災地である塩釜市の浦戸の海をきれいにする」ための活動資金として役立てられます。

本制度にご賛同いただきました当社株主の皆様に、心よりお礼申し上げます。

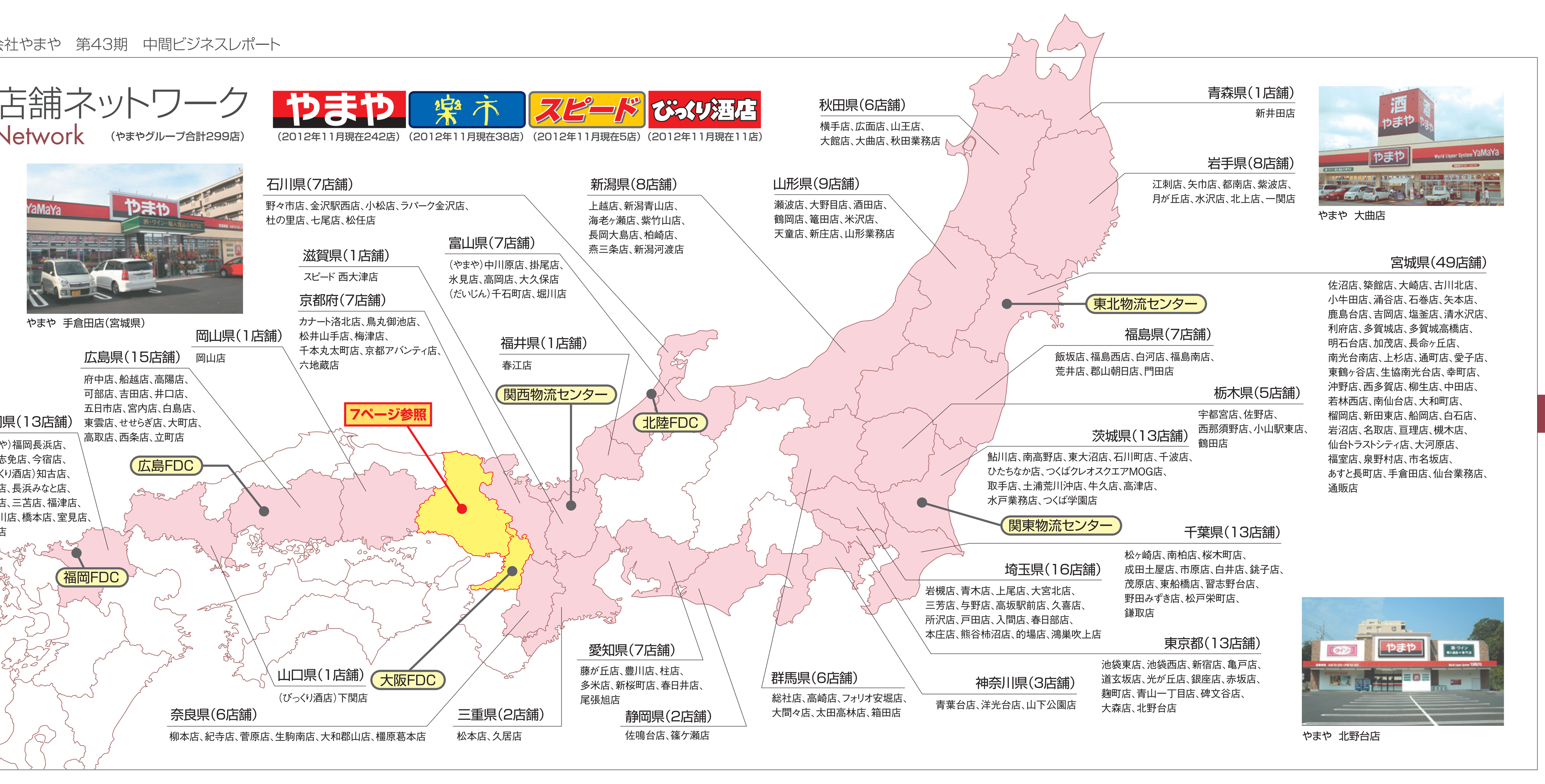
記

寄贈日　平成24年11月14日（水）
場所　塩釜市役所
贈呈金　平成24年3月31日を基準日とする株主優待として、社会貢献型寄付を選択されました615名の株主様から、47万円の寄付金をお預かりいたしました。
これに、店頭募金及び支援寄付商品販売による支援金を加え、合計300万円を寄付いたしました。

店舗ネットワーク
Network

（やまやグループ合計299店）

やまや（2012年11月現在242店）　楽市（2012年11月現在38店）　スピード（2012年11月現在5店）　びっくり酒店（2012年11月現在11店）



やまや　手倉田店（宮城県）　やまや　大曲店　やまや　北野台店

店舗ネットワーク（阪神エリア）
Network

やまや　楽市　スピード

兵庫県（22店舗）

（やまや）六甲道店、宝塚安倉店、神戸藤原台店、門戸厄神店、宝塚中筋店、西宮北口店
（楽市）三田ウッディタウン店、宝塚逆瀬川店、安倉中店、宝塚米谷店、芦屋店、北神星和台店、北鈴蘭台店、垂水名谷店、川西店、いながわ店、西宮今津店、尼崎額田店、尼崎杭瀬店、尼崎富松町店、尼崎水堂店、尼崎園田店

大阪府（50店舗）

（やまや）OCAT店、長堀橋店、箕面店、岸和田春木店、若江岩田店、箕面外院店、JR茨木駅前店、枚方公園店、ロイヤル枚方店、堂島プラザ店、高槻奈佐原店、豊中少路店、下田部店、大桐店、鳥飼店、南津守店、阿倍野帝塚山店、茨木水尾店、東香里店、池田店、和泉中央店、阪南町店、佐井寺店、河内磐船店
（楽市）高槻浦堂店、高槻須賀店、高槻南平台店、箕面さくら店、箕面船場店、石橋駅前店、池田北店、大阪空港店、豊中西泉丘店、豊中豊南店、豊中穂積店、くずは店、吹田千里丘店、南吹田店、東淀川菅原店、歌島橋店、淀川西宮原店、淀川三国本町店、野田阪神店、鶴見放出東店、都島本通店、城東東中浜店
（スピード）豊中小曽根店、豊中服部店、長尾谷店、交野店

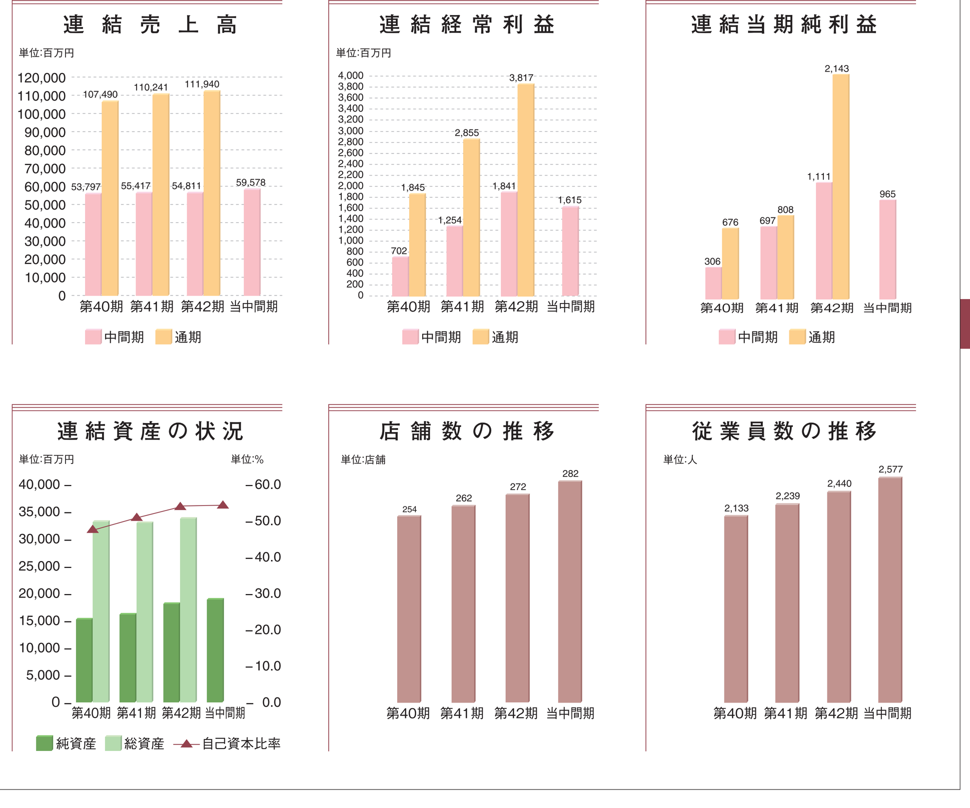
やまや関西本社　箕面船場店

やまや　河内磐船店

大阪FDC

大阪FDC（フロント・ディストリビュー・センター）は、阪神地区の物流拠点として大阪府摂津市に設置し、2009年5月11日より稼動いたしました。大阪府・兵庫県を中心に、やまや・やまや関西の2社が展開する約80店舗向けに、商品調達や配送などの機能を担います。

財務ハイライト
Financial Highlight



連結財務諸表（要旨）Financial Statements

連結貸借対照表（要旨）　（百万円）

	当第2四半期会計期間末 2012年9月末現在	前第2四半期会計期間末 2011年9月末現在
資産の部		
流動資産	16,715	14,478
固定資産	18,337	18,127
有形固定資産	13,676	13,579
無形固定資産	72	138
投資その他の資産	4,588	4,409
資産合計	**35,052**	**32,605**
負債の部		
流動負債	14,190	12,845
固定負債	1,801	2,481
負債合計	**15,991**	**15,327**
純資産の部		
株主資本	19,053	17,275
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	6,055	6,055
利益剰余金	9,754	7,973
自己株式	△ 4	0
その他の包括利益累計額	8	3
その他有価証券評価差額金	8	3
純資産合計	**19,061**	**17,278**
負債純資産合計	**35,052**	**32,605**

連結損益計算書（要旨）　（百万円）

	当第2四半期累計期間 2012年4月1日~2012年9月30日	前第2四半期累計期間 2011年4月1日~2011年9月30日
売上高	59,578	54,811
売上原価	49,777	45,428
売上総利益	9,801	9,383
販売費及び一般管理費	8,316	7,643
営業利益	**1,484**	**1,739**
営業外収益	181	181
営業外費用	50	79
経常利益	**1,615**	**1,841**
特別利益	0	9
特別損失	0	86
税金等調整前当期純利益	1,615	1,764
法人税、住民税及び事業税	597	569
法人税等調整額	51	83
当期純利益	**965**	**1,111**

連結キャッシュフロー計算書　（百万円）

	当第2四半期累計期間 2012年4月1日~2012年9月30日	前第2四半期累計期間 2011年4月1日~2011年9月30日
営業活動によるキャッシュフロー	△ 608	△ 490
投資活動によるキャッシュフロー	△ 895	△ 407
財務活動によるキャッシュフロー	1,084	△ 1,065
現金及び現金同等物に係わる換算差額	0	△ 1
現金及び現金同等物の増減額	△ 420	△ 1,964
現金及び現金同等物の期末残高	2,041	1,901

会社概要 Corporate Profile

会社概要（2012年9月30日現在）

会社名	株式会社やまや
英文社名	YAMAYA CORPORATION
本社所在地	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号
設立年月日	1970年11月26日
資本金	32億4,733万円
従業員	2,577名
主要な事業内容	酒類、食品等の販売・輸入・製造
ホームページ	http://www.yamaya.jp
主要連結子会社	やまや商流株式会社、大和蔵酒造株式会社 やまや関西株式会社、やまや北陸株式会社
上場取引所	東京証券取引所 第1部（証券コード9994）

役員（2012年6月28日現在）

役員	
代表取締役会長	山内 英房
取締役副会長	山内 一枝
代表取締役社長	山内 英靖
取締役	川崎 徹
社外取締役	星名 光男
社外取締役	久木 邦彦
常勤監査役	早坂 克昭
監査役	鈴木 一樹
監査役	黒澤 徳治

株式の状況（2012年9月30日現在）

■発行可能株式総数　35,000,000株
■発行済株式総数　10,847,870株
■株主数　3,468人

※自己株式は3,855株です。

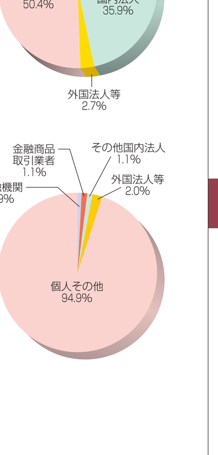
大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
山内英靖	2,169,640	20.00
イオン株式会社	2,072,730	19.11
山内コンサルタント有限会社	1,647,360	15.19
山内浩晶	1,085,260	10.00
株式会社七十七銀行	220,000	2.02
山内英房	197,960	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	185,530	1.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	138,700	1.27
山内一枝	85,800	0.79
株式会社三井住友銀行	71,610	0.66

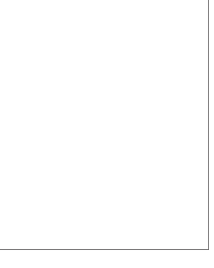
※持株比率は自己株式（3,855株）を控除して計算しています。

所有者別株主分布状況（2012年9月30日現在）

金融機関	1,086,430株
証券会社	106,573株
その他国内法人	3,893,244株
外国法人等	296,450株
個人その他	5,465,173株
合計	10,847,870株



金融機関	30人
証券会社	38人
その他国内法人	39人
外国法人等	71人
個人その他	3,290人
合計	3,468人



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当金　毎年3月31日 中間配当金　毎年9月30日 株主優待　毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日。
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号（電話 0120-232-711　通話料無料）
ホームページ	http://www.yamaya.jp
上場取引所	東京証券取引所 第1部（証券コード9994）
公告	電子公告により行います http://www.yamaya.jp/pages/ir/koukoku/index.html やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

お知らせ

●**当期より新たに中間配当を実施いたします。**

当社は、安定的な配当を継続することが配当政策上重要であると考えております。さらに、企業体質の一層の強化と今後の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案して、利益の還元を実施していくことを基本方針といたしております。当社は、これまで年1回、期末配当として剰余金を配当することを基本としていましたが、今年度（平成25年3月期）より株主の皆さまへの利益還元の機会を充実させる目的で、剰余金の配当を年2回実施することにいたしました。今後も、さらなる株主資本の充実ならびに株主還元につとめてまいります。

●**平成25年3月期 中間期の配当について**

平成24年10月24日の取締役会決議により、1株につき普通配当10円とさせていただきました。期末配当は同じく1株につき普通配当10円を予定しており、年間では20円となる見込です。中間配当に関する書類は、本書送付の封筒に同封していますのでご確認ください。

1.ご注意

(1) 株主様の住所変更、買取請求、単元未満株式買増請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
(2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
(3) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせ下さい。
(4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2.配当金計算書について

「配当金領収証」（口座振込ご指定の方には「配当金振込先のご確認について」）および「配当金計算書」を同封いたしております。

「配当金計算書」は、配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

株主優待制度のご案内

今年度（平成24年3月31日基準日）の株主優待制度は以下の通りとなっております。

基準……毎年3月31日現在の株主名簿に記載された、100株以上所有の株主様に対し、以下の要領で株主優待を実施いたします。

内容……●100株以上1,000株未満保有の株主様に5%割引の「株主優待券」を1枚贈呈、又は社会貢献型株主優待として株主様に代わり当社から優待相当額（500円）を寄付。
●1,000株以上保有の株主様には、5%割引の「株主優待券」を10枚、あるいは「優待品」、又は社会貢献型株主優待として株主様に代わり当社から優待相当額（3,000円）を寄付。
尚、株主優待券のご利用に当たりましては、以下の利用制限があります。

①「株主優待券」の5%割引対象外商品　商品券ほか金券類、タバコ、書籍、宅配料金、国産のビール類（ビール、発泡酒、新ジャンル）、業務用樽ビール、ダイソー商品等、および当社が指定する特売価格商品は割引対象外とさせていただきます。

②「株主優待券」のご利用期限………
i 有効期限　贈呈した翌年の5月31日までとさせていただきます。
ii 使用可能店舗　やまやグループ全店舗（やまや・スピード・楽市）の店頭（配達業務・業務店・通販店ではご利用いただけません。）
iii お買上金額の上限　株主優待券1枚につき、1回で10万円（消費税込み）までのお買上げが割引の対象となります。（株主優待券はご利用のつど回収させていただきます）
iv 使用制限　やまや感謝デー、バースデーパスポート、大人の休日割引などとの割引併用はできません。
v 精算方法　お買い物代金をレジで精算される前に、株主優待券をご提出下さい。

③「優待品」…………当社が厳選した商品をお送りいたします。
（本年度は株主ご優待のお品として、子会社である大和蔵酒造株式会社の「山田錦の酒　純米吟醸　雪の松島」、720mlを1本贈呈いたしました。）

④社会貢献型株主優待について……社会貢献型株主優待による寄付は、災害義援金、被災の自治体への寄付、環境保護活動への寄付、社会福祉活動に対する寄付などを想定し、具体的な寄付先については、当社が決定し、その結果を当社ホームページに掲載し報告いたします。寄付は「やまや株主有志」名義で行い、個人宛の領収書の発行はいたしません。

実施時期……毎年3月31日を基準日とし、6月初旬にお送りいたします。

その他……ご優待の内容等については、予告なく変更することがありますのでご了承下さい。